

科 目 名	プレゼミナールⅣ	備 考
単 位 数	2 単位	

図 書 館 新 任

学校教育における学校図書館の役割

1. 授業内容

今日、学校教育では、アクティブラーニングを通じた主体的な学習能力と総合的な学習に代表される課題解決能力の育成が求められている。これらの根底にあるものが情報活用能力であり、それを含めた学習機関として学校図書館は大きな期待が寄せられている。情報活用能力は学校教育終了後、すなわち発展し続ける情報社会において生きていくために必要な基礎的能力といえる。一方、公共図書館は日常生活において必要となる様々な資料・情報を提供し、個々が抱える課題を解決する生涯学習機関としての側面を持っている。図書館を通じて教育を概観すると、公共図書館は我々が学校教育の成果を社会生活で発揮するための保障機関であり、学校図書館はその準備教育である学校教育に欠かせない教育機関であると言える。プレゼミナールⅣでは、学校図書館の役割を理解するとともに、学校図書館の教育的機能ならびに教育活動について検討していく。

2. 到達目標

学習を通じて、メッセージを伝えるために必要な情報の収集・選択・整理し、表現・伝達の基礎的な手順を理解し、日常生活の中で用いることができるようにする。また、成果の要点を伝えるプレゼンテーションの基礎力を身に付けていくこと目標とする。

3. 到達目標となる駿大社会人基礎力

情報収集能力、計画力、論理的・多面的思考力、理解力、情報処理能力、行動力・実行力、創造的発想力、プレゼンテーション能力

4. 関連科目

学校図書館司書教諭資格科目、図書館司書資格科目、教職課程科目

4. テキスト・参考書等

講義の中で適宜、文献を紹介する。また、必要に応じて資料を配布する。

5. 授業外における学習方法

個々人がテーマを設定し調査研究をすすめていくには、関心事項だけでなくあらゆる場面で“気づき”を得ることが重要である。読書やラジオ等にも親しむとともに、身近な地域情報・生活情報にも目を向けること。

6. 成績評価方法

本科目に取り組む姿勢（30%）、課題（40%）、発表（30%）で評価。なお、2／3以上出席しない場合は、単位の認定はしない。

授 業 計 画			
第1回	ガイダンス	第9回	文献・データの理解（評価と分析）
第2回	学校図書館の基礎知識	第10回	各自にテーマ設定と文献・データ収集
第3回	学校図書館利用者の基礎知識	第11回	収集した文献・データの分析と評価
第4回	学校教育と図書館	第12回	プレゼンテーションの方法
第5回	学校図書館に関する文献を読む	第13回	発表用資料の作成
第6回	学校図書館に関する文献を読む	第14回	発表と議論
第7回	文献情報・データの種類と特性	第15回	まとめ
第8回	文献・データの入手方法		